

# 逐條土地收用法資料

(一一)

## 高 坂 孝 三

### 二四、土地所有者未確定ノ場合ニ於ケル收用手續

(内務 大正七年十一月十九日甲第一〇三五號)  
大阪府知事宛 土木局長 回答)

(要旨) 收用スヘキ土地ノ所有者死亡シ遺産相續ニ關シ係  
争中ナル場合或ハ所有權ニ關シ係争中ナル場合ニ於テハ起  
業者ハ所有者ヲ指定スルコトヲ要シ指定シタル所有者ト協  
議ヲ爲スヘキモノトス

(原文) 土地所有者不明ノ場合ニ於ケル協議ノ件——八月二十  
四日土第七六四九號ヲ以テ標記ノ件御照會ノ處收用スヘキ土地  
ノ所有者カ死亡シ遺産相續ニ關シ係争中ナル場合ニ於テモ民法  
第九百九十四條以下及同第一千百十一條ニ依リ相續者アルヘキ筈

ニ有之又所有權ニ關シ係争中ナル場合ニ於テモ所有者ハ客觀的  
ニ存在スルモノナルヲ以テ以上何レノ場合ニ於テモ起業者ハ所  
有者ヲ指定スルコトヲ要シ(土地收用法第二十三條參照) 指定  
シタル所有者ト協議ヲ爲スヘキモノニ有之候

(右起案理由) 本件(一)ノ場合ニ於テハ遺産相續開始ト共ニ  
相續人確定スヘク相續人不明ナル場合ハ相續財産ハ法人トナ  
ルヲ以テ假令相續ニ關シ係争中ナリトスルモ所有者ノ確定セザ  
ル場合アリ得ヘカラス故ニ此場合ニ於テハ所有者ニ對シ法第二  
十二條ニ依リ協議ノ手續ヲ爲スニ非サレハ裁決申請ノ條件ヲ具  
備セサルモノトス(二)ノ場合ハ所有者ノ何人ナルヤ訴訟當事者  
間ニ争アル場合ナルモ法第二十三條ハ收用審査會ノ裁決申請ノ  
手續ヲ規定シ土地所有者及關係人ノ氏名住所ノ調書ヲ添附スル

コトヲ要スル旨ヲ規定シタルヨリ見ルトキハ起業者ニ所有者指定ノ義務ヲ負ハシメタルモノト解スヘク之ヲ指定セサル裁決ノ申請ハ法第三十五條第二項ニ依リ却下裁決ヲ爲スヘキモノトス（大阪府知事伺）土地收用ヲ爲サントスル場合ニ於テ該土地所有權カ私法上係争中ニテ所有權ノ確定セサル場合又ハ土地所有者ハ死亡シシテ未タ相續人ノ確定セサルトキ若クハ相續上ニ付係争中ニ係ル場合ニ於テモ之カ所有權取得ニ付土地收用法第二十二條第二項ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ申請シ得ヘキハ勿論ノ議ト存候ニ付テハ前例示ノ場合ニハ裁決書ニ前段ノ場合ハ何番地所有者、後段ノ場合ハ何某相續人ト表示シ裁決書ハ明治三十三年三月勅令第百號土地收用法第六條ニ基キテ發スル命令ノ件第十八條ニ基キ市町村長ヲシテ公告セシメ差支ナキ義ト存候モ收用法第二十二條第二項ニ依リ類推解釋スルニ過キスシテ右ニ對スル何等ノ明文無之疑義ヲ生シ候ニ付御取扱振承知致度此段照會候也

### 二五、第五十二條ニ依ル地上物件ノ收用請求ニ於ケル協議

（行裁 大正十一年第一一號  
同十三年三月六日宣告）

（後出第五十二條資料一参照）

第二十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求メムトスルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左ニ掲ケタル書類ヲ添ヘ地方長官ニ差

出スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

一 事業計畫書及圖面

二 市町村別ニ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類

收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號、地目

收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類、數量但シ土地物件カ分割ヲ來スヘキ場合ニ於テハ其ノ全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ

損失補償ノ見積金額及内譯

收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

土地所有者及關係人ノ氏名、住所

三 第二十一條ノ規定ニ依ル土地物件ニ關スル調査又ハ

其ノ寫

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地

所有者及關係人ニ通知スヘシ

一、事業計畫書及圖面中宇名ノ記載脫漏

(行裁 大正元年第一八五號)  
同年十二月四日宣告)

(要旨) 事業計畫書及圖面中ニ宇名ノ記載ヲ逸シアルモ收  
用地力實際ニ於テ起業者ノ計畫圖示セル地域ニ當リ現ニ内  
閣ノ認定ニ基ク地方長官ノ土地細目公告中ニ其宇名、地番、  
地目、反別ヲ記載シアル以上ハ其土地ヲ收用スルノ必要ナ  
シト云フヲ得ス

(判決理由) 訴外桂川電力株式會社ノ起業電氣機ニ關スル設備  
ノ爲メ收用ヲ必要トスル土地ノ範圍細目ヘ乙第四號證(官報公  
告)ノ如ク内閣ノ認定ニ基ケル地方長官ノ公告ニ依リ業既ニ定  
マレル事實ニシテ現ニ事業計畫書及圖面中ニ表示サルヘキ開渠  
ノ用地力實際ニ於テ宇深山口ニ屬スルモノ、大部分ナルカ故ニ  
「深山口開渠」ト記載セルモノニ外ナラス即チ「深山口開渠」  
トハ單ニ溝渠ノ名稱ニ止マリテ本件收用地ノミノ地名ヲ指示シ  
タル趣旨ニ非サルヲ以テ「深山口開渠」ノ名稱ノ下ニ本件收用  
地力實際水路ニ當レルコトヲ認定シ得ル以上ハ右事業計畫書中  
ニ「深山口開渠云々」トノミ表示シ宇赤羽根ノ記載ナキ一事ノ

ミヲ以テ本件土地ヲ收用スル必要ナキモノト斷定セントスル原  
告主張ハ理由ナキモノトス

二、裁決申請書ニ添附スヘキ本條第一項第二號ノ  
書類ノ作成要件

(行裁 大正十四年第一〇三號)  
同十五年十月二十七日宣告)

(要旨) 起業者カ土地收用法第二十三條ニ依リ收用審査會  
ノ裁決ヲ求ムル申請書ニ添附スヘキ同條第一項第二號ノ書  
類ハ同法第二十一條土地收用法施行令第六條ノ手續ヲ履踐  
シテ作成シタル調書ナルコトヲ要スルモノニ非ス故ニ起業  
者ノ收用審査會裁決申請書ニ添附シタル書類カ前示法定ノ  
手續ヲ履踐セサル調書ナリトスルモ其ノ記載カ事實ニ相違  
セサル限り審査會カ之ヲ採リテ裁決ノ資料トスルモ違法ニ  
非ス

(判決理由) 略

三、裁決申請書中收用地區ノ表示方

(行裁 大正十一年第八二號)  
同十五年十二月二十三日宣告)

(要旨) 起業者ノ申請書ノ附屬圖面ニ收用地ノ區域ヲ明確ニ圖示シアル以上縱令之ニ記載セル地番カ真正ノ地番ニ符合セサルコトアリトスルモ土地收用法第三十五條第二項ニ所謂申請カ本法ニ違反スルモノト云フヲ得ス

(判決理由) 土地收用法第二十三條ニ於テ申請書ニ收用スヘキ土地ノ番號地目等ヲ明記シタル書類ヲ添附スヘキ旨ヲ規定セルハ收用スヘキ區域ヲ明確ナラシメンカ爲ニ外ナラサルヲ以テ尙モ申請書ノ附屬圖面ニ收用地ノ區域ヲ明確ニ圖示シアル以上縱令之ニ記載セル地番カ真正ノ地番ニ符合セサルコト原告主張ノ如シトスルモ之ヲ以テ同法第三十五條第二項ニ所謂申請カ本法ニ違反スルモノト云フヲ得ス

#### 四、裁決申請書中損失補償ノ見積金額及内譯ノ表

示方

(行裁 大正九年第七五號  
同十年十一月十日宣告)

(要旨) 起業者カ土地所有者ニ對シ協議ノ際示シタル損失補償ノ見積金額及内譯中ノ殘地補償ヲ裁決申請ヲ爲シタルトキ申立テサルモ申請書ニ土地損失補償ノ見積アル以上土

地收用法第二十三條ノ所謂損失補償ノ見積金額及内譯ノ添附ヲ缺クモノト謂フヲ得ス

(判決理由) 原告カ赤穂町中村字島田一四五ノ田地外二十七坪ノ殘地損失補償ヲ申立テタルニ拘ラス單ニ三筆ニ付キテノミ申立テタルモノノ如ク看做シ其ノ他ノ殘地ニ付キテハ何等裁決ヲ與ヘザリシハ失當ナリト主張スルモ裁決書ニ依レハ其ノ文意上其ノ以外ノ殘地ニ對シテハ補償ノ必要ヲ認メザリシカ故ニ裁決書ニ記載セザリシモノト解シ得ルニ依リ此ノ點ヲ以テ收用審査會ノ裁決ヲ不當ナリト爲スヲ得ス且又收用審査會ハ起業者其ノ他當事者申立ノ範圍内ニ於テ補償ノ要否ヲ決定スルノ權限ヲ有スルカ故ニ起業者カ土地所有者ニ對シ協議ノ際示シタル損失補償ノ見積金額及内譯中ノ殘地ノ補償ヲ裁決ノ申請ヲ爲シタルトキ申立テサルモ申請書ニ土地損失補償ノ見積アル以上土地收用法第二十三條ノ所謂損失補償ノ見積金額及内譯ノ添附ヲ缺クモノト謂フヲ得ス從テ其ノ申請ヲ受理シタル收用審査會ノ裁決ヲ不當ト認ムルヲ得ス

#### 五、裁決申請書中收用時期ノ書損

(行裁 昭和六年第二一九號  
同七年十二月二十七日宣告)

(要旨) 起業者ヨリ差出シ公衆ノ縦覧ニ供セラレタル土地  
 收用裁決申請書ニ收用時期ノ誤記アルモ其ノ誤記カ書損ナ  
 ルコトノ容易ニ看取シ得ヘキモノナルトキハ土地所有者ハ  
 起業者ノ申請ニ對シ正當ナル意見ヲ申立ツルノ機會ヲ與ヘ  
 ラレサリシモノト謂フコトヲ得ス又收用審査會ハ收用時期  
 ノ明ナラサル申請ニ基キ若クハ公衆ノ縦覧ニ供セラレサル  
 申請ニ基キ裁決ヲ爲シタルモノト謂フコトヲ得ス

(判決理由) 本件土地收用ニ關シ起業者カ當初昭和六年四月二  
 十二日附ヲ以テ差出シ公衆ノ縦覧ニ供セラレタル裁決申請書ノ  
 收用時期調書ニ收用ノ時期ヲ昭和四年五月三十一日ト記載シタ  
 ルコトハ當事者間ニ争ナキ所ナルモ此ノ日附ノ記載カ誤記ナル  
 コトハ極メテ明瞭ニシテ其ノ「昭和四年」トアルハ「昭和六年」  
 ノ書損ナルコト容易ニ看取シ得ヘキ所ナルカ故ニ後ニ起業者カ  
 之ヲ改書シテ提出シタル訂正調書ハ公衆ノ縦覧ニ供セラレサリ  
 シモ原告ハ起業者ノ申請ニ對シ正當ナル意見ヲ申立ツル機會ヲ  
 與ヘラレサリシモノト謂フコトヲ得ス又被告ニ於テ收用時期ノ  
 明ナラサル申請ニ基キ若クハ公衆ノ縦覧ニ供セサル申請ニ基キ  
 裁決ヲ爲シタルモノト謂フヘキニ非ス從テ此ノ點ニ關スル原告  
 ノ主張ハ之ヲ採用スヲコトヲ得ス

### 六、本條第一項第三號ノ追加ノ理由

(内務昭和二年  
改正案說明書)

(原文) 第二十一條ノ規定ニ依リ作りタル土地物件ニ關スル調  
 書ハ法定ノ證據力ヲ有シ其ノ記載事項ニ付テハ當事者間異議ヲ  
 述フルコトヲ得サラシメタルヲ以テ收用審査會ノ裁決ハ此ノ調  
 書ヲ基礎トシテ收用ノ裁決ヲ爲スヲ至當トスルニ依リ收用審査  
 會裁決申請書ニ右調書ヲ添附セシメムトス

### 七、本條第二項ノ法意並通知ノ欠缺ノ效果

(一)

(行裁大正九年第七五號  
同十年十一月十日宣告)

(要旨) 土地收用法第二十三條第二項ノ通知ヲ爲スハ意見  
 書ヲ提出スルコトヲ得シメンカ爲ニ外ナラサレハ關係人カ  
 裁決ノ申請アリタルコトヲ知リテ意見書ヲ提出シタル場合  
 ニアリテハ通知ナカリシコトノ故ノミヲ以テ收用審査會ノ  
 裁決ヲ取消スヘキ限ニ在ラス

(判決理由) 原告賃借人ハ起業者ノ裁決申請ノ通知ヲ受ケサル  
 ノミナラス若シ原告賃借人ニ對シ通知ノ書面カ發送セラレタリ

トスルモ同通知ハ奥藤研造ト協議調ハサル爲メ裁決ヲ申請スル  
旨ノ通知ニシテ賃借權收用裁決ヲ申請シタル通知ニアラサレハ  
之ヲ以テ收用法第二十三條ノ通知手續ヲ爲シタリト謂フヘカラ  
スト主張スルモ通知ヲ爲スハ意見書ヲ提出スルコトヲ得セシメ  
ンカ爲ニ外ナラサレハ原告カ裁決ノ申請アリタルコトヲ知リテ  
意見書ヲ提出シタル本件ノ場合ニアリテハ通知ナカリシコトノ  
故ノミヲ以テ收用審査會ノ裁決ヲ取消スヘキ限ニアラス

(二)

(行裁昭和七年第一四二號)  
昭和七年十二月二十四日宣告

(要旨) 起業者カ土地所有者ニ對シ土地收用法第二十三條  
第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ爲サス之カ爲土地所有者カ意見  
書ヲ提出スルヲ得サリシヲ看過シテ爲シタル收用審査會ノ  
裁決ハ違法サレトモ斯ノ如キ場合ニ於テハ土地所有者ハ行  
政訴訟ニ於テ其ノ意見ヲ申立テ裁決ノ當否ヲ争フコトヲ得  
ルモノト解スヘキカ故ニ同條ニ依ル通知ナキノ故ノミヲ以  
テ裁決ヲ取消スヘキモノニ非ス

(判決理由) 原告等ハ起業者ヨリ土地收用法第二十三條第二項  
ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケサリシ爲メ本件裁決申請アリタルコト  
ヲ知ラス遂ニ意見書提出ノ機會ヲ失ヒタルニ被告カ起業者ノ右

手續違背ヲ看過シテ裁決ヲ爲シタルハ違法ニシテ本件裁決ハ之  
ヲ取消スヘキモノナリト主張スルモ起業者カ原告等ニ對シ同條  
項ノ通知ヲ爲サス之カ爲原告等カ本訴ニ於テ申立ツルカ如キ趣  
旨ノ意見書ヲ提出スルヲ得サリシヲ看過シテ裁決ヲ爲シタルハ  
違法ナリ然レトモ斯ノ如キ場合ニ於テハ原告等ハ本訴ニ於テ其  
意見ヲ申立テ裁決ノ當否ヲ争フコトヲ得ルモノト解スヘキカ故  
ニ同條項ニ依ル通知ナキノ故ノミヲ以テ裁決ヲ取消スヘキモノ  
ニ非スト解スルヲ相當トス(昭和五年三月四日行政裁判所宣告、  
昭和四年第四百四十五號事件參照) 依テ此ノ點ニ關スル原告ノ主  
張ハ之ヲ採用スルヲ得ス

八、時期ヲ失シタル本條第二項ノ通知ノ效果

(行裁昭和四年第一四五號)  
昭和五年三月四日宣告

(要旨) 時期ヲ失シタル土地收用法第二十三條第二項ノ通  
知ハ適法ナルモノト謂フヲ得サルモ斯ノ如キ瑕疵アルノ故  
ヲ以テ全然裁決ヲ無効ナラシムルモノト解スヘキニ非スシ  
テ斯ノ如キ瑕疵アル通知ヲ受ケタル者ハ縱令土地收用法第  
二十五條ニ依リ意見書ヲ差出ササリシトスルモ尙其ノ意見  
ヲ行政訴訟ニ於テ申立ツルコトヲ得ルモノト解スルヲ相當

トス

(判決理由) 原告兩名ハ土地收用法第二十三條第二項ニ依ル本件通知ハ時期ヲ失シ原告兩名ヲシテ同法第二十五條所定ノ期間内ニ意見書ヲ提出スルコトヲ得サラシメタルモノナルニ拘ラス被告カ本件裁決ヲ爲シタルハ違法ニシテ無効ナリト主張スルニ依リ之ヲ案スルニ本件裁決ノ申請カ昭和四年二月十五日ニシテ右申請ニ對スル公告カ同月二十七日ナルコトハ乙第二號證及乙第四號證ニ依リ明ナリ而シテ右書類ノ公衆縦覽期間ハ同年三月六日ヲ以テ滿了スヘク而モ本件裁決ハ同年三月二十八日ナルコトハ争ナキ所ナリ然ルニ原告兩名ニ對スル通知ハ何レモ同年二月二十八日發送セラレ同年三月一日送達セラレタルコトハ乙第八號證ニ依リ明ナリ而シテ同法第二十三條第二項ニハ「收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ」トアルヲ以テ前記ノ如キ時期ニ於ケル通知ハ適法ナルモノト謂フヲ得サルモ斯ノ如キ瑕疵アルノ故ヲ以テ全然裁決ヲ無効ナラシムルモノト解スヘキニ非スシテ斯ノ如キ瑕疵アル通知ヲ受ケタル者ハ縱令土地收用法第二十五條ニ依リ意見書ヲ差出ササリシトスルモ尙其ノ意見ヲ行政訴訟ニ於テ申立ツルコトヲ得ルモノト解スルヲ相當トス從テ原告兩名ノ此ノ點ニ關スル主張ハ理由ナシ

九、更正申請書提出前ニ爲サレタル通知ノ效力

(行裁 明治四十三年第七三號  
同四十二年六月二十七日宣告)

(要旨) 裁決申請ノ通知カ更正申請書提出ノ二日前ニ爲サレタリトスルモ其前後提出ノ差異カ土地所有者ノ權義關係ニ何等ノ影響ヲ生セス實際ニ於テ輕微ナル手續上ノ錯誤ニ過キサルトキハ右通知ハ有效ナリ

(判決理由) 原告ハ起業者カ土地收用法第二十三條末項ニ依ル通知ヲ收用裁決申請ト同時ニ爲スヘキ規定ナルニ明治四十三年一月十五日ニ爲シタル通知ヲ被告審査會ニ於テ之ヲ相當ト認メ裁決ヲ爲シタルハ違法ナリト主張スルモ起業者カ當初裁決申請書ヲ提出シタルハ乙第二號證ノ如ク明治四十三年一月七日ニシテ當時右申請書類ニ不備ノ點アリテ縣廳ノ照會ニ由リ更正ヲ爲シ其更正申請書カ同月十七日ヲ以テ提出セラレタル事實ハ原告ノ認ムル所ナレハ原告ニ對スル裁決申請ノ通知カ右更生申請書提出ノ二日以前ニ爲サレタルモノトスルモ前後提出ノ差異カ原告ノ權義關係ニ何等ノ影響ヲ生セス實際ニ於テ輕微ナル手續上ノ錯誤ニ過キスト認ムルニ依リ被告カ其通知ヲ有效ナリトシテ裁決ヲ下シタルハ違法ニアラス

一〇、土地所有者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依ル内容ノ不知ト通知ノ有無

(行裁大正三年第一三五號)  
同三年二月二十日宣告

(要旨) 起業者カ裁決申請ノ通知ヲ發シ土地所有者ニ受領セラルヘキ程度ニ配達ノ手續ヲ爲シタル以上ハ土地所有者ニ於テ自己ノ責ニ歸スヘキ事由ニ依リ其ノ内容ヲ知ラザリシトスルモ土地收用法第二十三條第二項ノ通知アリタルモノトス

(判決理由) 起業者カ本件土地收用ニ付收用審査會ニ裁決ノ申請ヲ爲スト同時ニ土地收用法第二十三條第二項ニ依リ土地所有者タル原告ニ其通知ヲ爲シタルコトハ丙第十一號證タル書留郵便ニ徴シ之ヲ認ム即チ同證ニハ從參加人ヨリ原告ニ宛テ大正二年五月三日附ニテ本件土地買收ノ爲メ協議ヲ爲シタルモ不調ニ歸シタル爲メ收用審査會ノ裁決ヲ求メタルニ付通知ヲ爲ス旨記載アリ且附箋ニ數回原告ニ配達セルモ其ノ都度原告ハ受領ヲ拒ミタル爲メ持戻リタルコトノ記載アリテ起業者ハ大正二年五月三日(裁決申請ト同日)該通知ヲ發シ原告カ該通知ヲ受領スヘ

キ程度ニ配達ノ手續ヲ盡シタルコト明カニシテ原告カ右通知ノ内容ヲ知ラザリシハ自己ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因ルモノト云フヘク既ニ起業者カ前記ノ如ク通知ヲ發シ配達ノ手續ヲ爲シタル以上ハ前記法條ノ通知アリタルモノトス

一一、本條第二項ニ所謂「同時ニ」ノ意義

(行裁大正元年第一八五號)  
同元年十二月四日宣告

(要旨) 土地收用法第二十三條第二項ニ「申請ト同時ニ」トアルハ必スシモ同時刻ナルヲ要セス成ルヘク近キ日時ヲ以テ足ルノ法意ナリ

(原告主張) 起業者カ裁決申請ノ通知ハ法第二十三條末項ノ規定ニ依リ申請ト同時ニ土地所有者ニ對シテ爲スヘキ管ナルニ申請ノ翌日ニ於テ之ヲ通知シタルハ不適法ニシテ之ヲ是認シタル裁決ハ違法タルヲ免レス

(判決理由) 收用法ニ「申請ト同時ニ」トアルハ必スシモ同時刻ナルヲ要セス成ルヘク近キ日時ニ於テ之ヲ爲セハ可ナルノ法意ニシテ申請ノ翌日之ヲ爲スモ違法ナリト云フヲ得ス

## 二、官廳ノ起業ト收用事務處理名義

(一) (内務大正八年五月九日發土第五六號) 各地方長官宛土木局長通牒)

(要旨) 土地收用ニ關シ起業者タル官廳ノ事務中之ヲ其ノ所屬官吏ニ分掌セシメル場合ニ於テハ事務簡捷上後者ノ名義ヲ以テ其ノ事務ヲ處理セシムルコトヲ得

(原文) 土地收用ニ關シ起業者タル當該官廳ノ事務中『土地收用法第十三條第二項ノ協議ヲ除ク外』之ヲ其ノ所屬官吏(鐵道省管理局長、同事務所長、内務省土木出張所長ノ如キ)ニ分掌セシメタル場合ニ於テハ事務簡捷上後者ノ名義ヲ以テ其ノ事務ヲ處理セシメ支障無之旨今般關係廳へ通牒相成候條御了知相成度

註、右ニ所謂「第十三條第二項ノ協議」ハ改正(昭和二年)前ノモノデアル。

(二) (行裁昭五三年第三五二號) 同七年三月二十九日宣告)

(要旨) 鐵道省カ起業者ニシテ鐵道事業ノ爲ニ必要ナル土地ノ收用ニ付鐵道省改良事務所長ノ名ヲ以テ裁決ノ申請ヲ

爲スハ違法ニ非ス

(判決理由) 原告ハ起業者カ鐵道省ナルトキハ其ノ起業ニ必要ナル土地ノ收用ニ付收用ノ裁決ヲ申請スルハ鐵道大臣ノ名ニ於テ爲スヘキモノナルニ拘ラス鐵道省ノ起業ニ必要ナリトシテ原告所有ノ土地ニ付本件收用ノ裁決ヲ鐵道省大阪改良事務所長ノ名ニ於テ申請シタルハ違法ナシ……ル旨主張スルモ鐵道省カ起業者ニシテ鐵道事業ノ爲ニ必要ナル土地ノ收用ニ付鐵道省改良事務所長ノ名ヲ以テ爲サレタル裁決ノ申請カ違法ノモノニ非サルコトハ當裁判所昭和三年二月十六日宣告大正十五年第八十一號事件ノ判決ニ於テ説明スル所ノ如シ

## 二、裁決申請ノ取下

(行裁大正五年第一六三號) 同七年七月三十一日宣告)

(要旨) 起業者ハ一旦收用審査會ノ裁決ヲ申請シタル後ト雖未タ裁決ナキ間ハ其ノ申請ヲ取下クルコトヲ得

(判決理由) 公益事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要アル場合ニ於テ土地收用法ノ規定ニ依ルト否トハ素ヨリ起業者ノ自由ナルノミナラス同法ノ規定ニ依リ事業ニ付内閣ノ認定ヲ受ケ又ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目公告又ハ通知ア

リタル後ト雖モ起業者カ其事業ヲ繼續スルト之ヲ廢止スルト又土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲爲シタル土地所有者及關係人トノ協議調ハサル場合ニ於テ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルト否トハ亦起業者ノ自由ナルコト同法第一條第二十二條第二項第三十四條及第五十八條ノ規定ニ依リ明ナルヲ以テ起業者ハ一旦收用審査會ノ裁決ヲ申請シタル後ト雖其ノ未タ裁決ナキ間ハ其ノ申請ヲ取下タルコトヲ得ト解セザルヲ得ス而シテ手續遲滯ノ爲土地所有者及關係人ノ權利利益ヲ長ク不安ノ地位ニ置クコト素ヨリ法ノ欲スル所ニ非スト雖法第二十二條乃至第二十九條及第五十八條ノ規定ヲ以テ土地收用ニ關スル前示基礎の規定ノ趣旨ヲ制限スルモノト解スルヲ得ス且民事訴訟手續ニ於テ訴ノ取下ニ付制限アルモ是特別ノ規定ニ基クモノニシテ之ヲ以テ本件ヲ律ス可ラサルコト勿論ナリ

### 一三、裁決申請取下ノ性質

(行裁 大正五年第一六三號  
同七年七月三十一日宣告)

(要旨) 裁決申請ノ取下ハ起業者ノ一方的行爲ニシテ地方長官又ハ收用審査會ノ許可ヲ要スルモノニ非ス從テ起業者ヨリ取下ノ申立アルトキハ申請ハ直ニ消滅ス

(原告主張) 起業者ヨリ裁決ノ申請書ヲ差出シタルトキハ之ヲ

處分スルノ權ハ收用審査會ニ屬シ地方長官ハ法第二十八條及第二十九條ノ場合ノ外獨立シテ受理ノ決定シ又ハ之ヲ却下スル等申請自體ノ運命ヲ決スヘキ處分ヲ爲ス權ヲ有スルモノニ非ス故ニ本件德島縣知事ノ裁決申請却下處分ハ全ク權限外ニ屬スル違法ノ行爲ニシテ無効ナリ從テ前ノ裁決申請ハ依然トシテ効力ヲ有スルモノト謂フヘク後ノ重複セル裁決申請ハ無効ナリ然ルニ被告カ前記裁決申請ノ却下ヲ違法ナラスト爲シ後ノ裁決申請ニ對シテ爲シタル裁決ハ違法ナリ且前ノ裁決申請ノ却下ニシテ違法ナル以上ハ其裁決申請ハ依然所轄官廳ニ繫屬セルヲ以テ同一收用事項ニ付再ヒ爲シタル協議ハ法第二十二條第二項ノ効果ヲ生スヘキモノニ非ス從テ其ノ不調ヲ前提トセル後ノ裁決申請ハ違法ニシテ之ヲ是認シタル裁決亦違法ナリ

(判決理由) 裁決申請ノ取下ハ起業者ノ一方的行爲ニシテ地方

長官又ハ收用審査會ノ許可ヲ要スルモノニ非ス從テ起業者ヨリ裁決申請取下ノ申立アルトキハ其申請ハ直ニ消滅スルモノナルカ故ニ本件德島縣知事カ收用審査會開會前ニ爲シタル却下ハ單ニ申請書類ノ返還ニ止リ申請自體ヲ却下シタルモノニ非ス從テ起業者カ右申請取下後ニ同一ノ土地又ハ物件ニ付爲シタル權利取得ニ關スル協議及裁決ノ申請並之ニ基キテ爲シタル本件裁決ハ違法ナリト爲ス原告ノ主張ハ不當ナリ